

トピックス

高度衛生管理体制の構築と産地市場の統廃合による集出荷機能の強化:糸満漁港

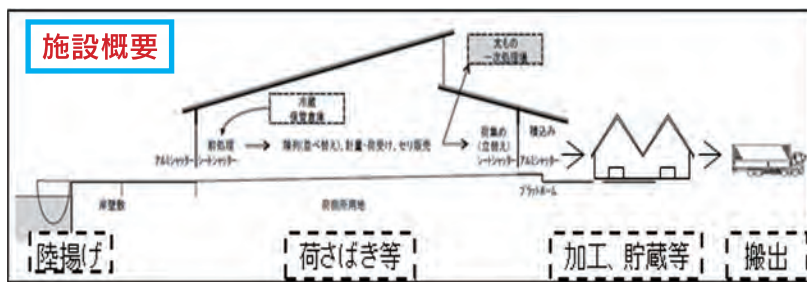
沖縄県では、令和元年度より糸満漁港において、本県水産業の長年の懸念事項であった泊魚市場の糸満漁港への産地市場機能の一部移転を伴う新たな整備事業を行っています。

県下最大の水揚量を誇っていた泊魚港は、荷さばき施設の老朽化が顕著であるほか、港内の敷地や水域が狭隘であり、衛生管理への取組や非効率な流通体制が課題でした。

このため、沖縄県漁連の産地市場を糸満漁港に移転するとともに、取扱量の増大に対応した高度衛生管理型荷さばき施設、水産加工施設の集積、避難水域の安全係留に資する防風施設等を一体的に整備しており、令和4年に高度衛生管理型荷さばき施設が完成しました。

これにより、高度衛生管理体制の構築や集出荷機能等が向上することで、大口での出荷が可能となり、魚価の向上、販路の拡大が期待されます。令和5年度からは加工施設の整備が進められます。

水産流通基盤整備事業：糸満地区



高度衛生管理型荷さばき施設と加工施設等の一体的な整備により、陸揚げから搬出までの一貫した衛生管理体制を構築



避難水域の安全係留に資する防風柵



高度衛生管理型荷捌施設



開所式の様子



初セリの様子

トピックス

緊急自然災害防止対策事業(南城市)

海岸管理者が管理する海岸保全施設の災害の発生を予防し、又は災害の拡大を防止することを目的として、地方公共団体が策定する緊急自然災害防止対策事業計画に基づき実施される地方単独事業。



修繕前



修繕後



海岸清掃活動

県では毎年、美しい海岸景観や貴重な珊瑚礁の保全と背後の農地を守るために、地域の人々と協力しながら美化活動に取り組んでいます。昨年は真栄里海岸、これまでに佐敷海岸、知念海岸で実施され、例年、一般ボランティア 300～400 名ほどが参加して、農地海岸の清掃活動を行ってきました。今年度においても南部管内で実施を予定しており、環境保全への意識高揚を図っていきます。



ボランティアによる清掃作業の様子